

第4回 (仮称) 寺山公園屋内教養施設 施設機能・管理運営計画検討委員会
議事要旨

日 時：平成26年2月21日(金)

場 所：東区役所会議室

委 員：伊藤委員、椎谷委員、石垣委員、植木委員、小熊委員、濱野委員

事務局：谷川課長、石崎課長補佐、木伏係長、湯浅主査

事務局員：相楽専務、本間主任

<議 事>

1. (仮称) 寺山公園屋内教養施設 施設機能・管理運営計画(案)について

事務局 34ページ以降を中心にご議論いただきたい。

伊藤 34ページ以降について、ご意見・ご確認はないか。

植木 資料の40ページでは、屋外の屋根付き運動広場は保留とあったが、機能ゾーニング図に含まれているのかいないのか？

事務局 計画としては外して考えている。ただし、日よけや休憩できる大きな庇を設けることは検討している。予算的な面からも、外部空間より内部空間に力点を置く。

植木 47ページのゾーニング図でいくと、当初、半屋外の運動スペースとして考えていた部分は屋内のオープンスペースに置き換わったということによいか。

事務局 屋内のオープンスペースは、当初の半屋外の運動スペースとは異なり、運動はできない場所となっている。

椎谷 資料編、アンケートQ3については選択肢が3つだけか？少ない。

アンケートについては、目的はもっとあるはず。もう少し選択肢があるとよかった。

伊藤 部屋の広さなどはイメージとして記しているが、これについては基本設計段階で具体的な数字が出てくるのか？

事務局 本市の考えとして、基本設計段階での自由な発想による業者提案を促すため、この計画では具体的な数字は出さずに、基本設計段階で具体的な数字を出すこととする。

植木 大学等との連携について、大学側としては、児童福祉法上の施設に送り出すと単位取得できるが、今回の施設は同法に基づかない施設。このような場合、ただのボランティアにしかならない。同法の児童遊園の機能をこの施設にかぶせると、学生派遣がしやすくなるので、検討していただきたい。連携がしやすくなる。

伊藤 あまりにも縛りがきつくなりすぎて制限されると良くないが、そうでなければ、

ぜひ、検討いただきたい。

濱野 これから基本設計をしていくということだが、1ページ目に書いている「冬の遊び場」が少ない、という話があった。公園自体をみると、20～30年前の公園のイメージ。公園全体としての魅力が弱い。今後、10～20年後を考えた事業を進めていただきたい。公園に関する要望についても、それが表れているのではないか。設計業者がどれだけ研究しているかにもかかっている。

内容については、遊具ひとつとっても、その業者がどれだけ研究しているかだと思う。ポーネルンドなどは営業スタッフレベルでよく勉強している。遊具業者が支援センターのスタッフ教育をしているところもある。支援センタースタッフ事態の意識改革も必要。

事務局 遊具選定などにしっかり力を入れていきたいと感じている。指定管理者の選定や、スタッフの指導についても丁寧にしないといけないと考えている。

椎谷 希望としては、運営していく中で、絵本や遊具を運営者が一緒になって決められるとよい。すでに用意された状態で運営者を決めると、後で運営がしにくくなる恐れがある。運営者も含めた話し合いの場を設けてほしい。育ちの森は12年やっているが、開設時、図面検討や備品の選定から関わらせていただいた。そのほうがより良い運営ができる。おもちゃは劣化していくため、長い目で検討しなければならない。また、年齢によっては使いにくい遊具もある。利用する子どもの年齢に合った玩具などの選定も必要である。

事務局 最近、事務局内でも話が出ている。建設に関しては無理だが、運営面では、早めに指定管理者を選定して、遊具や備品等の計画段階から関わってもらえるようにしたいと考えている。

濱野 指定管理者は、どのように決定するのか？

事務局 一般的には公募で募集をする。きちんとした理由がたてば指名も可能である。たとえば、専門性から県立大学さんと契約という方法もある。

伊藤 中身をどうするのか、というアイデアも必要になろう。大きなポイントになるため、整理をしていただきたい。それぞれの空間の使い方、遊具などの選定・導入の流れなど、建物と公園それぞれについて整理していただきたい。

小熊 アンケートの結果はあるが、予算があるなかで、限られた範囲でうまく使える施設になることが求められる。運営する方の熱意があるとよい。

石垣 運営に関しては、どなたがそこを管理するかが重要。このような施設は「あの先生がいるから、話を聞いてもらいに行く」、「あの人に会いに行く」という動機が強いと思う。そのようなスタッフの存在を期待する。”地域・ボランティアに任せる”というのは簡単ではない。できるだけ外部に頼らず内部スタッフで対応できることが望ましい。

椎谷 東区のスポーツセンターの遊び場がすごく良いと聞いた。そこで、講座などをし

ているのか？人気なのか？

- 事務局 あくまでも場の提供。遊具と飲食スペースがある。比較的、人も集まっている。
- 椎谷 人気のある施設が、この施設の隣にあるので、そちらとの役割分担・棲み分けが必要である。
- 濱野 施設について、公園に関する要望はどのような取扱いになるか。
- 事務局 すぐに実現可能かはわからないが、東区建設課および東部土木事務所に対して要望を出す予定。
- 濱野 子どもたちの運動能力が著しく低下している。起伏のある地形や築山があるとよい。冬はそり遊びやミニスキーもできる。これも要望としていれていただけるとよいが。
- 伊藤 起伏などができるとよいが、以前の委員会での建設課の反応では難しいようだ。
- 事務局 対応は難しい。
- 事務局 44ページに公園の図面がある。これを変更するのは難しい。起伏についてもコストがかかる。ここで上げた要望は、コスト面からも対応が可能と思われるものを残している。この4項目についてはできるだけ対応してもらいたいと考えている。この要望書については、ぜひ追加していただき、対応可能なものは対応していきたい。
- 伊藤 提案型の遊具はできないか？上限金額を提示し、その範囲内でトータルデザインをしていただくようなやり方。作っている業者の考えを反映した公園のほうが統一感があってよいのではないか。
- 事務局 この計画書を渡し、業者に提案させることは可能である。
- 伊藤 できれば、内と外を一体でできればよいが、管理者が変わるのであれば、個別でも提案型の遊具提示をしていただきたい。
- 椎谷 施設があつて公園があるという場はすごく望まれている。小学校に上がるまでの子どもがより遊ぶことが重要。入学前の子どもが遊ぶ場として重要な場となる。リアカーの中に絵具を載せて、外で色塗りをしたりすることも人気。そのようなしかけを使い、遊びを提供することも重要である。(ハードではなくソフトでの対応)
- 濱野 東京のプレイパークでは、とてもよいプログラムをやっている。
- 石垣 つくば市は、公園と児童館が一体の場が多かった。公園を公園として使うだけでなく、建物から一步外に出て木や落ち葉を使って遊ぶなどもできるとよい。落ち葉での焼き芋や冒険的な遊びができる場、子どもが自由に使える場、施設と外を連携して使える場、が望ましい。正式名称ではなく、遊びの機能などで呼ばれる(タコ公園・坂のある公園など) 特色ある公園。
- 伊藤 施設と公園が交わって使える運営ができるかどうかということも話を聞いていて感じた。

濱野 日陰についても、東屋は日陰になりにくい。木を使った日陰が望ましい。

事務局 木については、2種類の考えがあり、大木を植えるか、苗木を楽しみながら植えるという方法もある。

椎谷 絵本の部屋はなかったか？市内の施設で、どこでも絵本は人気がある。

事務局 当初、絵本スペースを想定していたが現在のプランから落ちてしまった。どこかに反映したい。

伊藤 スペースとしては一区切りしておいたほうがよい。走っている子どもと交錯しないスペースが必要。

椎谷 殺菌庫を用意してほしい。子どものおもちゃを殺菌するもの。手洗い場でお湯が出るようにしてほしい。手洗い場の高さや位置についても利用を考えて設置してほしい。